

栃木県（平成24年度）

この記念貨幣は、「とちぎの魅力豊かな自然・文化・歴史」をテーマに、発行されたものです。記念貨幣の表面は、日光東照宮を象徴する建造物である国宝・日光東照宮陽明門をデザインしています。

※東照宮陽明門

日光東照宮は、江戸幕府初代将軍徳川家康（1542～1616）の霊廟。日光山内にある二荒山神社、輪王寺とともに、平成11年に「日光の社寺」として世界文化遺産に登録された。陽明門は、同宮を象徴する建築物で、寛永12年（1635年）に三代将軍徳川家光の命により建造された。陽明門の名称は、平安京大内裏にあった十二門のひとつ「陽明門」から授かったとされ、正面には、後陽成天皇から賜った「東照大権現」の額が掲げられている。また、同門内には、508体の彫刻や極彩色の装飾が施され、1日中見ても飽きないことから「日暮門」^{ひぐらしもん}とも呼ばれる。

大分県（平成24年度）

この記念貨幣は、「八幡宮総本社宇佐神宮と大偉業を果たした相撲の達人」をテーマに、発行されたものです。記念貨幣の表面は、大分県を代表する神社である宇佐神宮の南中楼門と大分県出身の横綱・双葉山をデザインしています。

※宇佐神宮

全国4万余りあるとされる八幡社の総本宮。725年に本殿の一之御殿が現在の地に創建されたと伝えられている。現在の本殿は江戸時代末期に建築されたもので、昭和27年に国宝に指定され、平成24年で60周年となる。

※双葉山

大分県宇佐市出身（西暦1912年～1968年）。大相撲の第35代横綱。昭和11年から昭和14年にかけて達成した69連勝は、70年以上経った現在においても最多記録となっている。昭和21年に34歳で断髪し、年寄時津風を襲名。その後も財団法人日本相撲協会理事長を務めるなど、角界の発展に貢献した。

兵庫県（平成24年度）

この記念貨幣は、「コウノトリ」をテーマに、発行されたものです。記念貨幣の表面は、兵庫県の県の鳥である特別天然記念物・コウノトリと国宝・姫路城をデザインしています。

※コウノトリ

コウノトリ科に属し、成鳥は、全長が約115cm、翼を開いたときの大きさは約2m程になるものもある。昭和61年に日本産の個体は絶滅したものの、兵庫県において昭和60年にロシアから譲渡されたペアによる飼育下の繁殖に成功し、平成23年末現在で、約150羽まで増加。また、平成17年以降、試験放鳥を行うなどコウノトリを再び野生に戻す取り組みが実施されており、野外での繁殖も順調に進んでいる。

※姫路城

1346年に赤松氏により築城されたのが始まりとされる。1580年に羽柴秀吉が入城して再築。関ヶ原の戦いの後、1600年に池田輝政が入城すると、翌年から9年の歳月をかけて大規模改修を行い、現在の形となる。天守、櫓、門など当時の建造物が多数残されており、昭和26年に国宝に指定され、平成5年に「法隆寺地域の仏教建造物」とともに日本初の世界文化遺産に登録された。